

なりました。

人間は生きている間、社会と関係なく、誰もがずっと自分の思った通りに生きていけるわけではありません。ホームレスの人はもちろん人によって様々な大変な経験や過去があると思うけれど、生活にあきらめてホームレスになるのは、ちょっと弱すぎるんじゃないかなと思います。人生はどんな困難なことが起こっても、最後まで前向きに頑張るべきだと思います。

ホームレスになった人たちの弱い心を考えたら、つい私たち留学生のことも頭に浮かんできました。私たち留学生もふるさとを離れて、外国で留学しているうちに、みんな言葉で言えないぐらい沢山の困難なことを抱えていると思います。それでも、みんな自分たちの夢をかなえるために、いろんな困難と戦って、あきらめずに前向きに頑張っているではありませんか。

留学生生活は私にとっても、みんなにとっても、本当に人生の中でとても貴重な体験だと思います。ですから、これからもこの貴重な体験を無駄にしないで、どんな時でも、挫けずに素晴らしい未来に向かって挑戦する気持ちを持ち続けて行きたいと思います。

最後に、私が愛知大学に入学して、皆さんと知り合いに慣れたのも、何かの縁だと思います。この縁を大事にして、お互いに助け合い励ましあって頑張っていきたいと思います！

'02公開講座「言語」のご案内

愛知大学言語学談話会

〈後期〉 名古屋校舎研究館第3会議室

〈時間〉 14:30~16:30

⑥9月21日(土)

「EUにおける言語教育政策—ポーランドの外国語教育の現状—」

平尾 節子(法学部教授)

⑦10月12日(土)

「日本語話者がフランス語を通して見た韓国語・韓国語を通して見たフランス語(その2)」

田川 光照(経営学部教授)

⑧11月9日(土)

「メディア用語の変遷と最近の特徴」

大西 五郎(法学部教授)

⑨12月7日(土)

「トーマス・マンとはいったい何者だったのか」

島田 了(経営学部助教授)

⑩2003年1月11日(土) = 2 講義開催 =

「漢字について」

矢田 博士(経営学部助教授)

「漢字文化圏における表音文字の背景(その2)」

陶山 信男(愛知大学名誉教授)

〈編集後記〉

'02年7月号をお届けします。

次号より、内容のより一層の充実を目指して、各語系の先生方に、この半年あるいは1年間に外国の新聞などに掲載された言語・文化に関するニュースなどを提供していただくことになりました。お楽しみに!!